

令和7年10月3日

附属高松中学校で視覚障がい疑似体験 「スマッシュ・ザ・バリア」～見えない世界に見える気づきを～を実施

令和7年10月9日(木)、附属高松中学校で、視覚障がい疑似体験「スマッシュ・ザ・バリア」～見えない世界に見える気づきを～を実施いたします。

附属高松中学校はこれまで「多様性を認める」「平等に接する」ことを大切にさまざまな取組を続けてきました。しかし現実には「障がい者だから」という偏見を無意識のうちに抱いてしまうことがあります。このままでは真の意味で多様性を尊重し、平等に関わることはできません。そこで、相手の視点や価値観を体験し理解する機会を持つことで、偏見をなくし、多様性を受け入れる姿勢を育てることを目的として、本取組を企画しました。

つきましては、是非取材くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【実施概要】

- ・ 日 程：令和7年10月9日(木)
- ・ 時 間：10時50分～12時40分
- ・ 場 所：香川大学教育学部附属高松中学校 校内(建心館)
- ・ 対 象：香川大学教育学部附属高松中学校2年生(27名)
- ・ 内 容：

・ 視覚障がい疑似体験

・ パラスポーツ体験

(協力：一般社団法人 IINE 代表 田村 治仁氏)

なお、当日のタイムスケジュール等の詳細は別添資料をご参照ください。



取材申込はこちらから↓



➤ お問い合わせ先
香川大学 教育学部附属高松中学校 教諭 池内 靖昌
TEL：087-886-2121
E-mail：ikeuchi.yasumasa@kagawa-u.ac.jp

指導計画案

日	時	令和7年10月 9日(木) 9:30 集合 10:50~12:40	
場	所	香川大学教育学部附属高松中学校体育館・建心館・校舎	
指 導 担 当 者		田村 治仁・笹崎 莉愛・竹内 寛雅・百合山 沙織	
準 備 物		学校で準備をお願いしたい物品：アイマスク・卓球台3台・椅子30脚 I I N E：卓球バレー用具3セット・卓球バレーボール	
目 的		視覚障害	
参 加 者 (予 定)		2年生 26名 担当者：池内 靖昌先生	
タイムスケジュール		内 容	注 意 事 項
9 : 3 0		◎スタッフ集合 打合せ及び会場設営 ★体育館奥側に卓球台3台設置・椅子30脚(別紙資料) ★視覚障害体験コース確認(3コース) ※危険個所及びスタッフ担当コース決め	※スタッフ危険個所確認
1 0 : 5 0		3校時授業開始(体育館) ◎視覚障害体験授業開始 ★前回、授業の振り返り ・手引きに ・声掛けなど ★ペアを作る <u>※4校時終了まで同じペアで活動</u> ★体育館 → 建心館へ移動(ペア 手引きにて) ・アイマスク着用者を決める。 ※アイマスク着用者は体育館から建心館到着まで アイマスクを着用したままで移動 ※手引き者は、必ず危険個所を伝え危険個所側に立つ ※競争ではなく当事者体験(引っ張ったり押したり しないこと) ※階段での声掛けは重要(特に不安場所) ・手引き者にコースを説明 1コース：4ペア 2コース：4ペア 3コース：5ペア ※各コースにスタッフ1名と一緒に移動 ★建心館 → 体育館(アイマスク着用者交代) ・同じコースを移動するが生徒には伝えない。 ※終了後に移動距離が長くなったことでの不安等につ いて発表してもらう。 <u>◎視覚障害者は一番不安に感じるのは初めての場所</u>	※接触・転倒のリスクが高くなるので注意が必要 ※長時間にアイマスク着用は ストレスがかかるので不安 がある方は休憩を取りなが ら参加 ※アイマスク着用者同士の接 触に注意
			※スタッフは各ペアをまとめ ながら移動すること ※生徒のストレス・不安感が 大きくなっていないかを 確認

